

図書館コンシェルジュ

2021（令和3）年度
活動報告書

2022年3月

島根大学附属図書館

令和 3(2021)年度 図書館コンシェルジュ活動報告

附属図書館

1. 概要

図書館コンシェルジュは、来館者の利用サポートや、図書館において各種企画を実施している学生団体で、平成 22（2010）年度から活動を行っている。正課 PSP による予算支援を受けている正課外での図書館利用サポートは、学生が学生の図書館利用を支援すること（ピアサポート）を通じて、学習の場としての図書館の機能を活性化させるとともに、図書館コンシェルジュである学生自身の学びと成長（キャリア形成）を支援することを目的としている。また、図書館の活性化やサービス改善を目的とした各種企画（自主企画活動）も積極的に行っている。

2. 活動内容

(ア) 正課外での図書館利用サポート（正課 PSP による予算支援）

➤ サービスカウンターにて実施

(イ) 自主企画活動

- ・展示・グッズチーム：ブック☆コンパス（図書展示）、館内装飾、読書の木（来館者参加型の図書紹介企画） 他
- ・イベントチーム： ABD（対話型読書会）、ラーコモカフェ（ミニ講演会）、松江市立図書館団体貸出、ただ日本語で話すだけ（留学生との交流企画） 他
- ・チーム横断企画： オープンキャンパス企画（館内ツアー等の動画作成） 他

3. 学年・所属

<学年別内訳>

学年	人数
1 年生	7
2 年生	5
3 年生	5
4 年生	5
修士 1 年生	1
修士 2 年生	1
合計	24

<所属別内訳>

所属	人数
法文学部	7
総合理工学部	4
教育学部	2
生物資源科学部	4
人間科学部	7
合計	24

<参加人数>（過去 6 年間の推移）

年度	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R1(2019)	R2(2020)	R3(2021)
人数	28	31	25	27	26	24

4. 図書館利用サポートの実施状況

授業期間・定期試験期間を対象に、下表の○部分を活動時間帯とし、シフト表により各1名を配置した。なお、授業等の都合で活動が難しい日は事前連絡の上、従事しないことも可としている。

時間帯(コマ)	月	火	水	木	金
10:00-12:00	○	○	○	○	○
12:00-14:30	○	○	-	○	○
14:30-17:00	○	○	-	○	○

<活動期間>前期：4/21～8/5 後期 10/1～1/7

※後期は、感染症対策として利用サポートを取り止めた期間がある。

→令和3年度の利用サポート対象日数：131日（コマ数換算：341）

（資料1）令和3(2021)年度 利用サポート統計

5. 予算執行状況

（資料2）令和3(2021)年度 予算執行状況

6. 活動に参加した学生の評価・感想等（アンケート）

（資料3）令和3(2021)年度 アンケート調査

7. 今年度の活動における特記事項

昨年度に引き続き新型コロナウイルス感染拡大の影響で、活動実施に様々な制約が生じた。特に読書会や交流会といったイベント企画は、従来の形式での開催は困難でオンライン形式への転換を余儀なくされたが、担当学生の努力により展示企画を含めて多くの企画を実施することができた。

課題としては、メンバーが対面で集合するミーティングや外部団体との交流、学外での活動の機会が減少したことにより、メンバー間での一体感の形成や活動に対するモチベーションの維持が困難になった点が挙げられる。

8. 今年度の活動記録（詳細）

月	日	事項
4	14	館内装飾「春」開始
4	14	オンラインミーティング
4	21	オンラインミーティング
4	21	前期利用サポート開始
4	28	オンラインミーティング
4	28	ブック☆コンパス（テーマ「スタートダッシュと思想と」） 展示・貸出開始
5	中旬	オープンキャンパス企画の動画作成開始
5	8	オンライン ABD『なぜ、読解力が必要なのか？』開催
5	9	オンライン交流会（広島大学図書館サポーター“HULS”）
5	12	オンラインミーティング
5	14～17	職員によるレファレンス研修（レベルⅠ）実施
5	18	松江市立図書館団体貸出（テーマ「オリンピックと癒し」） 展示・貸出開始
5	19	オンラインミーティング
5	26	オンラインミーティング
6	9	オンラインミーティング
6	10	館内装飾「七夕」開始
6	16	読書の木展示開始
6	16	オンラインミーティング
6	23	オンラインミーティング
6	30	オンラインミーティング
7	7	オンラインミーティング
7	8	館内装飾「夏」開始
7	14	オンラインミーティング
7	14	ラーコモカフェ（第17回「オリンピックとは何か」）開催
7	16	オープンキャンパス動画公開
7	21	オンラインミーティング
8	11	オンラインミーティング
9	11	オンライン ABD『スマホ脳』開催（共催：梅光学院大学）
10	1	後期利用サポート開始
10	6～14	職員によるレファレンス研修（レベルⅠ）実施

月	日	事項
10	7	館内装飾「ハロウィン」開始
10	13	オンラインミーティング
10	27	オンラインミーティング
11	4	館内装飾「冬」開始
11	12	ブック☆コンパス（テーマ「小説と習慣」）展示・貸出開始
11	17	オンラインミーティング
11	18	ただ日本語で話すだけ（テーマ「好きな漫画」）開催
11	22	松江市立図書館団体貸出（テーマ「食」）展示・貸出開始
11	25	ただ日本語で話すだけ（テーマ「恋バナ」）開催
12	2	ただ日本語で話すだけ（テーマ「日本史」）開催
12	5	オンラインミーティング
12	9	ただ日本語で話すだけ（テーマ「友達作り」）開催
12	16	ただ日本語で話すだけ（テーマ「就活・院試」）開催
12	17	オンライン ABD『地方消滅』開催
12	23	ただ日本語で話すだけ（テーマ「K-POP などの音楽」）開催
1	7	オンラインミーティング
1	11	オンラインミーティング
1	13	ただ日本語で話すだけ（テーマ「留学」）開催
1	14	オンラインミーティング
1	19	オンラインミーティング
1	21	ブック☆コンパス（テーマ「『恋』ってなに、『愛』ってなに」）展示・貸出開始
2	11	オンラインミーティング

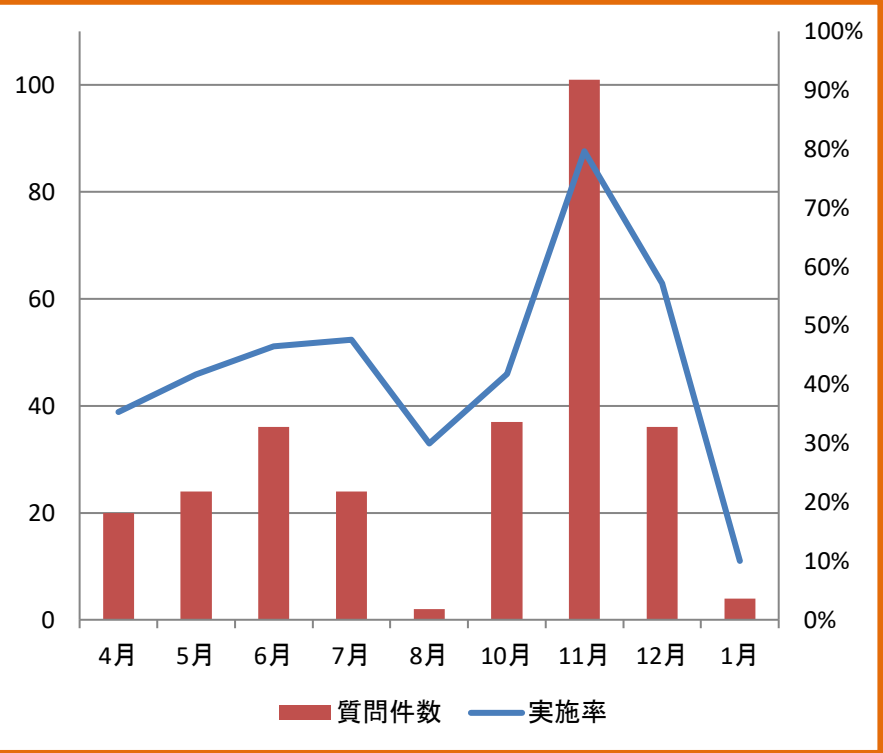
【資料1】令和3(2021)年度 図書館コンシェルジュ 利用サポート統計

年間集計

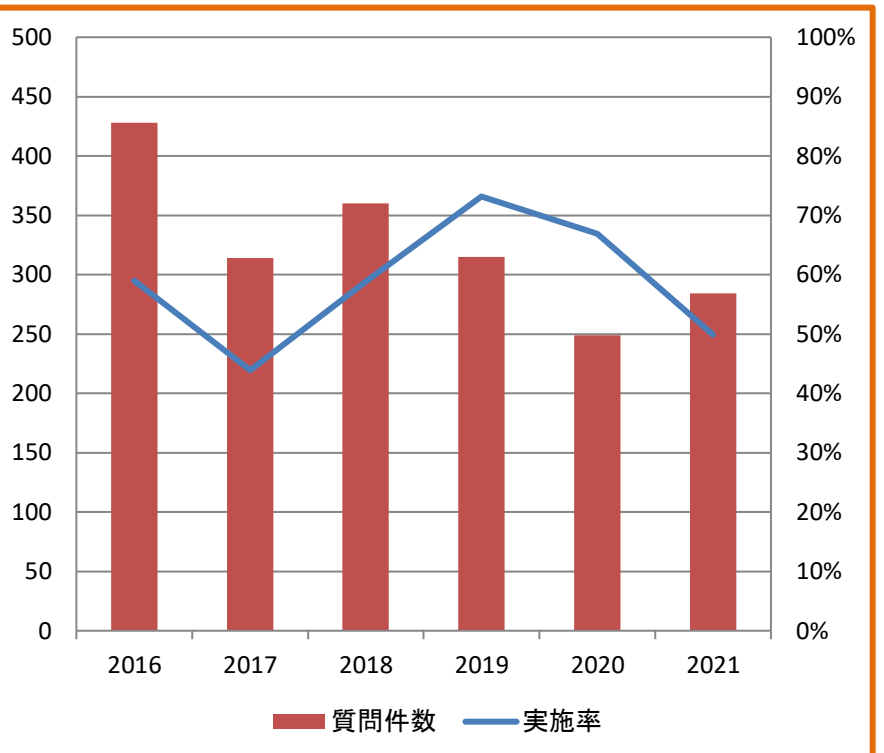
月	対象 日数	A)対象 コマ数	B)実施 コマ数	実施率 (B/A)	C)質問 件数	コマ当たり 質問件数 (C/B)
4月	7	17	6	35.3%	20	3.3
5月	18	48	20	41.7%	24	1.2
6月	22	56	26	46.4%	36	1.4
7月	16	42	20	47.6%	24	1.2
8月	4	10	3	30.0%	2	0.7
10月	21	55	23	41.8%	37	1.6
11月	20	54	43	79.6%	101	2.3
12月	19	49	28	57.1%	36	1.3
1月	4	10	1	10.0%	4	4.0
2月	0	0	0	0.0%	0	0.0
合計	131	341	170	49.9%	284	1.7

質問件数／実施率

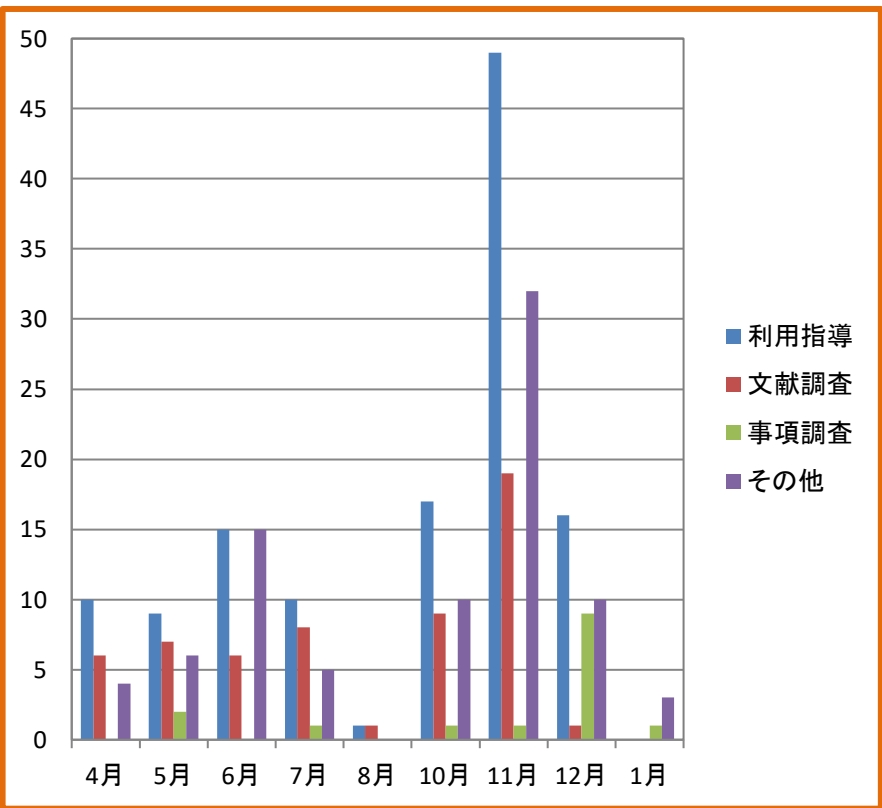
(1)令和3(2021)年度



(2)過去6年間の推移

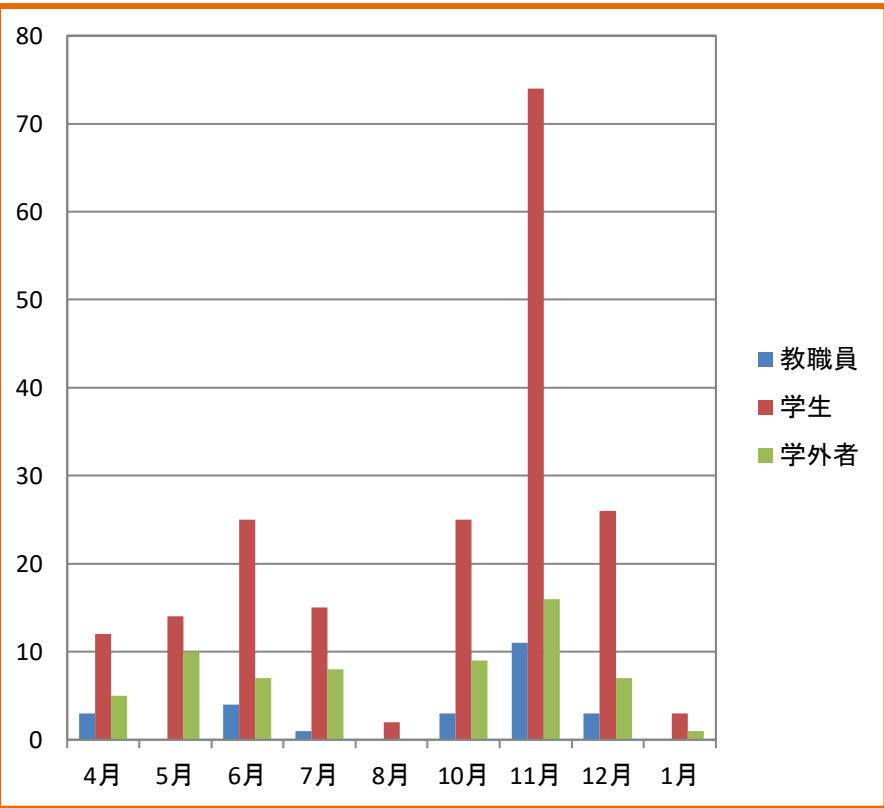


質問種別件数



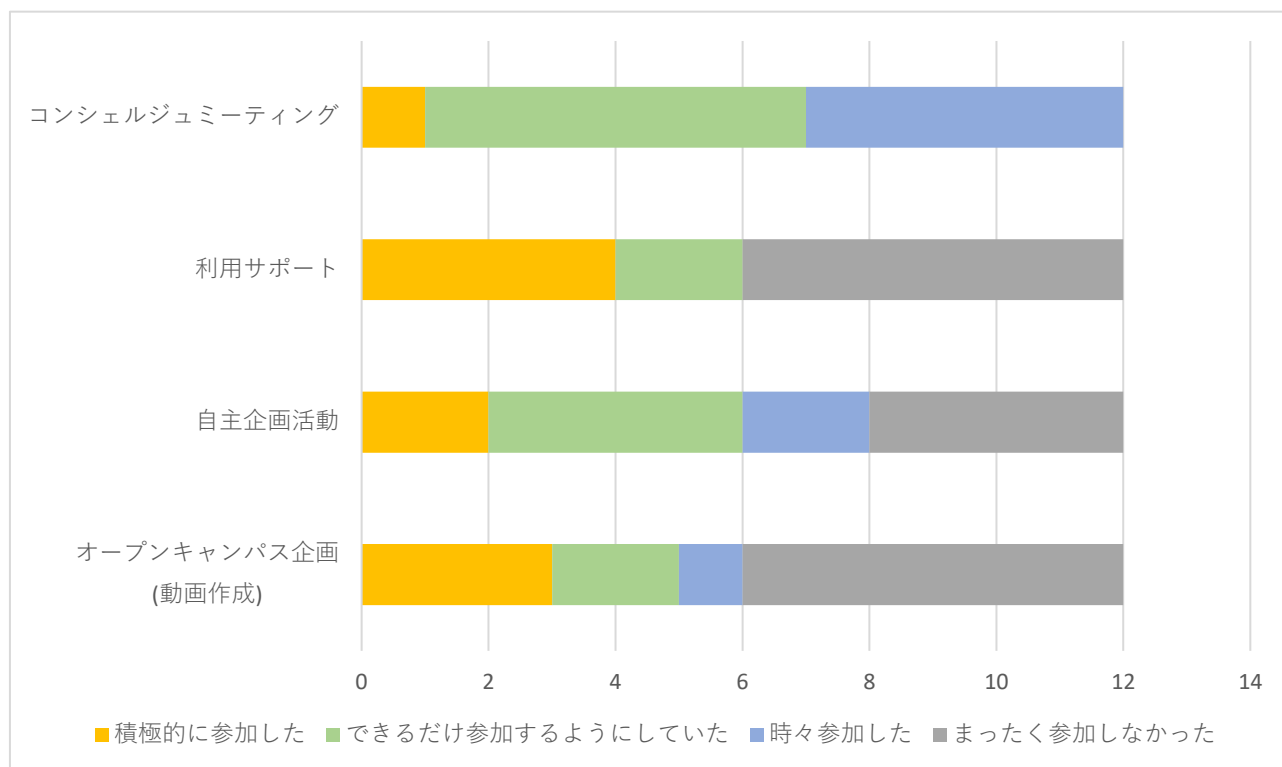
- * 利用指導 図書館の各種利用方法等の指導
(例)・書庫の利用の仕方は？
 - ・自動貸出装置の使い方が分からない
 - ・工学分野の図書はどこにあるか？
 - ・OPAC、データベースの検索の仕方が分からない
- * 文献調査 文献の所蔵・所在等についての調査
(例)・この図書は図書館にありますか
 - ・〇〇についての文献(図書・論文)を探している
 - ・〇〇という論文を探している
- * 事項調査 事実や事柄についての調査
(例)・〇〇について知りたい
- * その他 上記3種別に含まれない質問
(例)・学生支援センターはどこにあるか？
 - ・食堂は営業しているか？

利用者種別件数

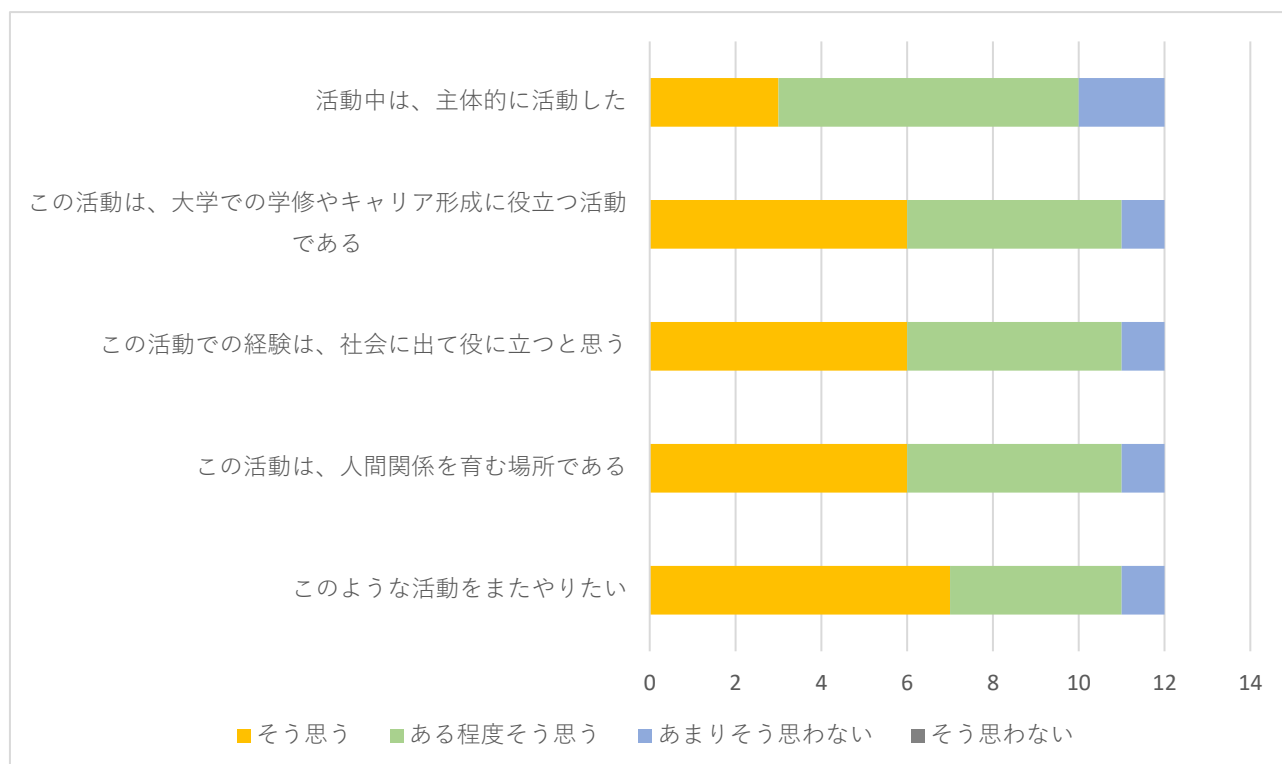


【資料3】令和3（2021）年度 図書館コンシェルジュ 活動状況に関するアンケート調査

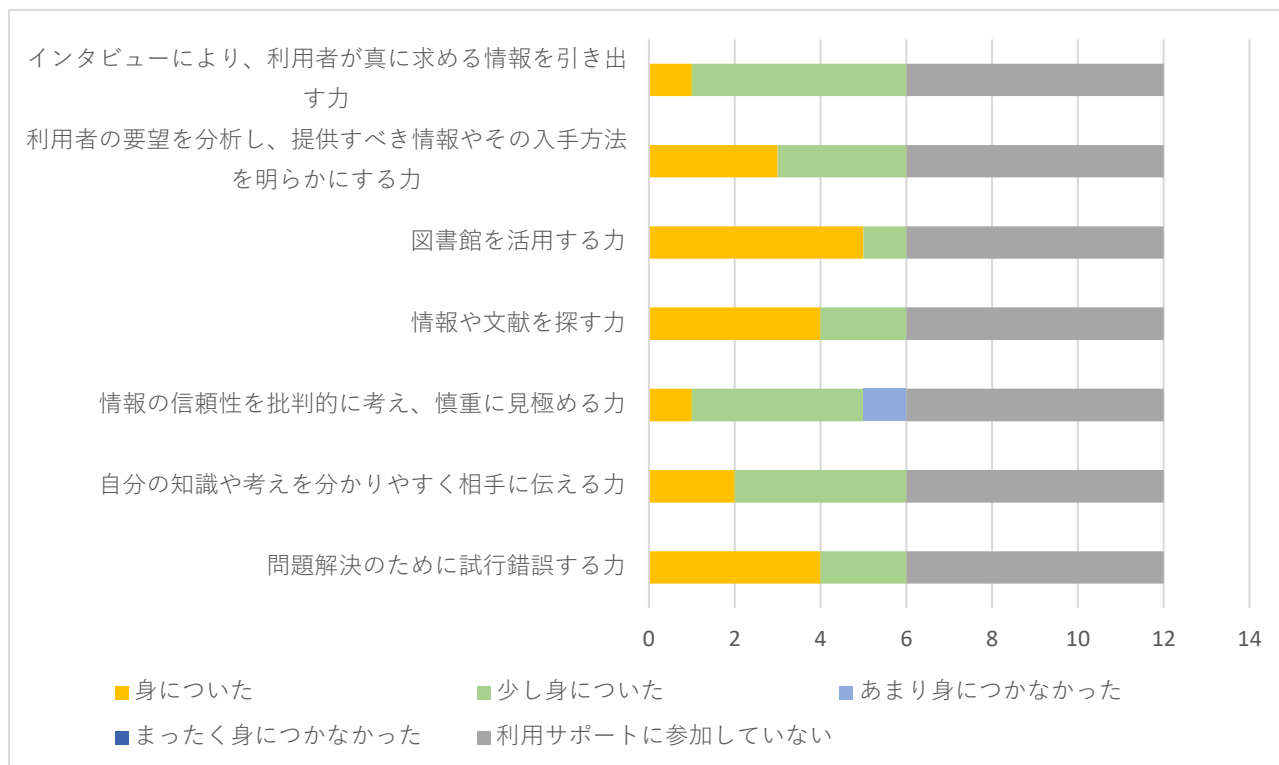
1 あなたは、以下のコンシェルジュ活動について、どの程度関わりましたか。



2 あなたは、この1年間にコンシェルジュの活動を行った経験の中で、以下の項目についてどの程度あてはまると思いますか。



3 利用サポート活動を通して、どのような力が身についたと思いますか。



4 利用サポート活動全般についての課題・問題点をお書きください。

留学生の方で、日本語が通じない方への対応。

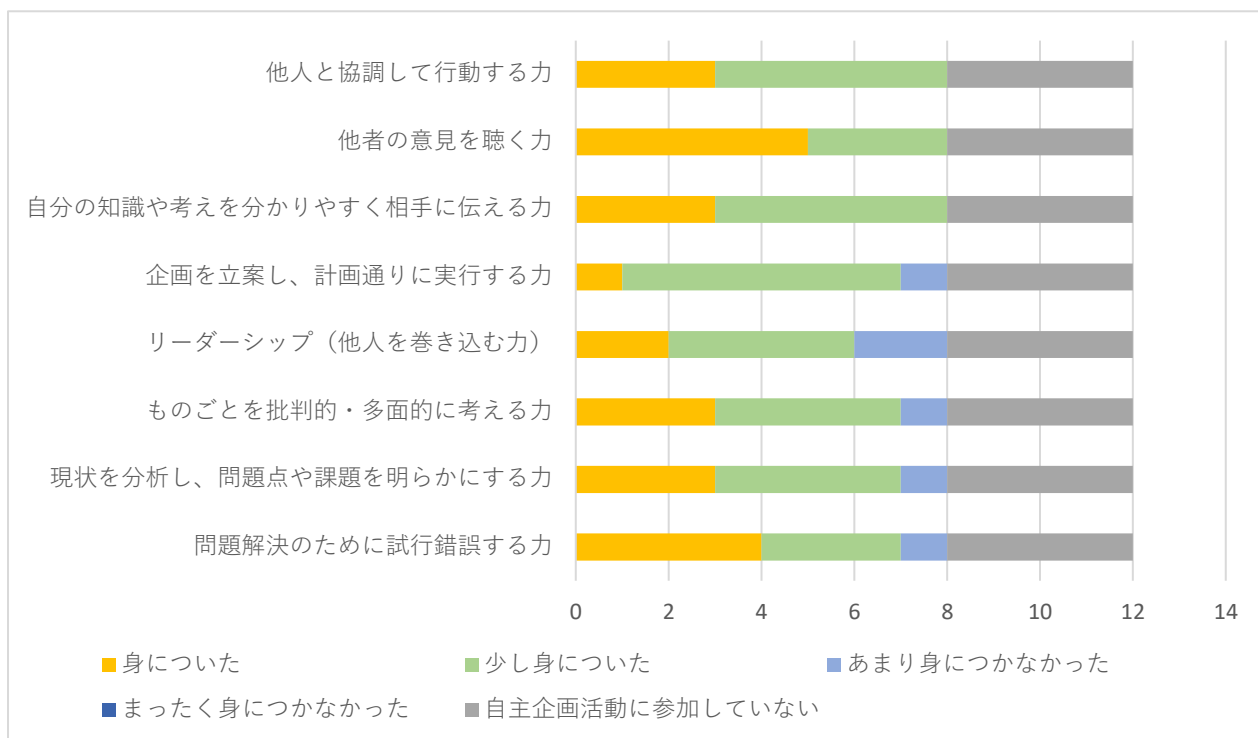
手続き等を覚えるのに時間がかかってしまいました。

自分自身が図書館についてよく知っていないと案内が難しいレファレンスもあるので、利用サポート自体が配下場所含めより、図書館をを知る必要があると感じた。

図書館で利用できるサービスや施設についてより詳しく教えて頂ければ、利用者の方にもより詳しく教える事ができるのかもしれないと思いました。

活動のための具体的なマニュアル(紙・電子媒体問わず)があると良いと思った。

5 自主企画活動を通して、どのような力が身についたと思いますか。



6 あなたが中心となって企画した自主企画活動についてお尋ねします。

企画名	その企画を行ったことで、図書館の利用者やコンシェルジュの活動に対してどのような効果があったと考えられますか。	企画を通して学んだ点・成長したと思う点をお書きください。
オープンキャンパス企画（動画作成）	図書館自体に興味がある受験生に向けて、パンフレット以上の情報を伝えることが出来る。	動画を見る側の視点にたって、どのように動けばわかりやすいかなど試行錯誤をすることで自分自身もより自主的に活動に参加することが出来た。
オープンキャンパス企画（動画作成）	コンシェルジュの企画について相互的な理解が育まれたと思う。	視聴者は何を望むのかを考えながら作成したことは相手のことを考える点でよかったと思う。
ABD	オンラインではあるが他大学の学生と交流するチャンスがあって良かった。	
松江市立図書館団体貸出	大学図書館ではなかなか借りられないジャンルの本などを、大学生に借りて読んでもらえる機会を増やすことができたと思います。	ポップやポスターの作成力は上がったと思います。

ラーコモカフェ	コンシェルジュが機能してることを示せたかなと思う。	企画と集客の難しさを学んだ。
---------	---------------------------	----------------

7 自主企画活動全般についての課題・問題点、その他気づいた点や感想をお書きください。

今期は、自主企画活動に参加することができませんでした。

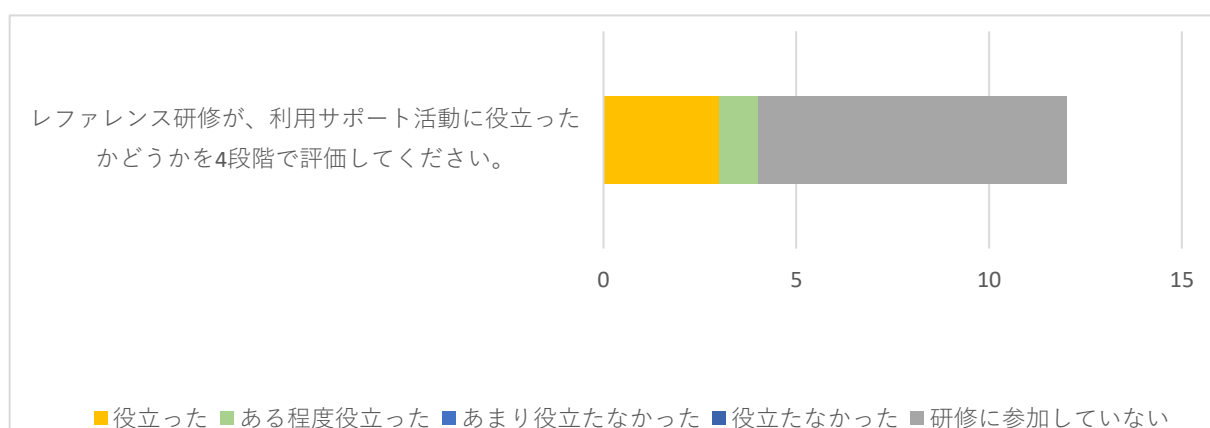
誰がいつ、どんな活動をしているのかわかりづらい。

参加してくれる人が少なく、広報力が弱いのも問題かもしれないが、毎回開催が危ぶまれるのが個人的に大変。

なかなか参加しにくい現状があることが課題だと思います。

メンバーがそれぞれの予定があるので円滑にどんな企画も進められないことは改善する余地があるかと思われる。

8-1 レファレンス研修が、利用サポート活動に役立ったかどうかを評価してください。



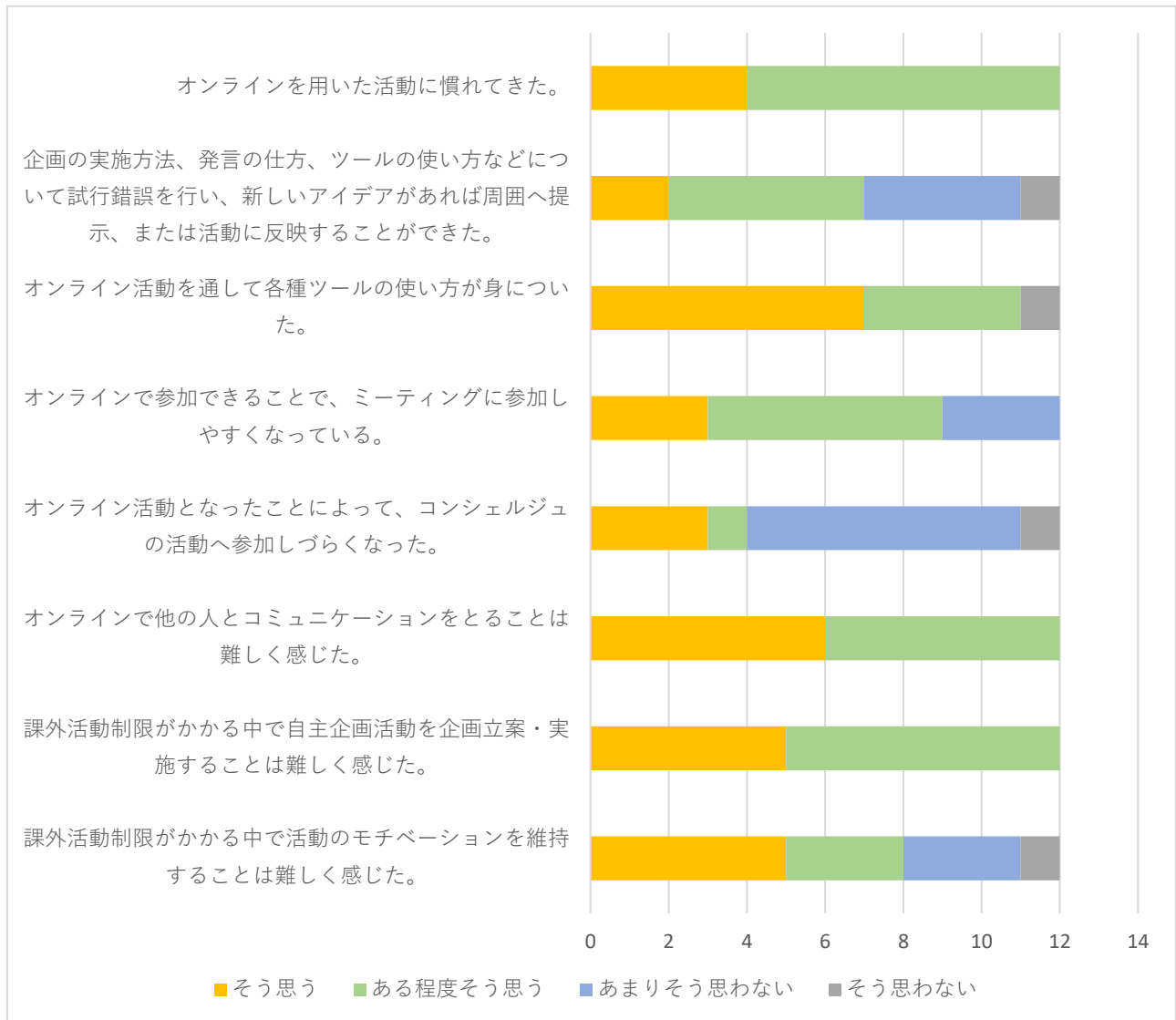
8-2 研修の成果をコンシェルジュの活動に生かせることができればお書きください。

OPACで検索結果を関連度順に並べ替えられることを知らなかったのですが、活動する際にとても生かすことができました。

新企画を考える時に、突発的な企画ではなく普段の図書館利用者に向けて何が出来るかを考える時など。

図書館の使い方を一般の大学生にも教えることができた。

9 昨年度に続き今年度もTeamsを使った情報共有やオンラインミーティングの実施など、オンラインツールを利用した活動を続けてきました。それを踏まえてオンライン活動に対しての考えを、以下の項目についてご回答ください。



9-2 自分が特に試行錯誤したと思う事柄や、活動にあたって自分が思いついたアイデアがあれば、お書きください。

発言を自分自身がすること以外に、ファシリテーターをする際に参加者に上手く話を回せるように、発言を促すなどした。また、資料の共有をする際に相手の通信環境による所もあるが、より円滑に資料を見ながらの解説などが出来たと思う。

9-3 特に理解度が深まったと感じられるツールがあれば、お書きください。

teamsにおける資料の共有方法。

チームズ

teamsは完全に慣れたと思う。

teams

10 オンラインを活用した活動についての課題・問題点、その他気づいた点や感想などをお書きください。

オンラインであると、場所などに囚われず活動ができるが、企画をいざ実施しようと思うとやはり人が集まらなくなると感じた。気軽に先輩に相談することも難しいので、より他でのオンライン上での努力が必要となる。

また、これからの問題点になるが対面上でのミーティングに慣れていない1回生が多いので円滑にミーティングを回せるようリーダーや副リーダー含め全員の努力が必要になってくると思う。

対面メンバーだけで話が進んでいくので、オンライン参加メンバーが発言しづらい。

オンラインミーティングの時にカメラオフだと話が進みにくい気がした。

オンラインと対面の両方でミーティングを開催した際に、オンラインの人が対面で参加している人同士の話に入りにくいと感じる事がありました。

話をすることが難しいです。

家からでも参加できる点でオンライン活動は非常に良いと思うが、画面越しの対話だと何気ない零れ話などがしづらいところがあり、話が発展しない場合がある。また一斉に話すとどの声も同じようにスピーカーから聞こえるため、会議室で話すときより聞き取りづらく、会議に慎重になる傾向もあると考えられる。

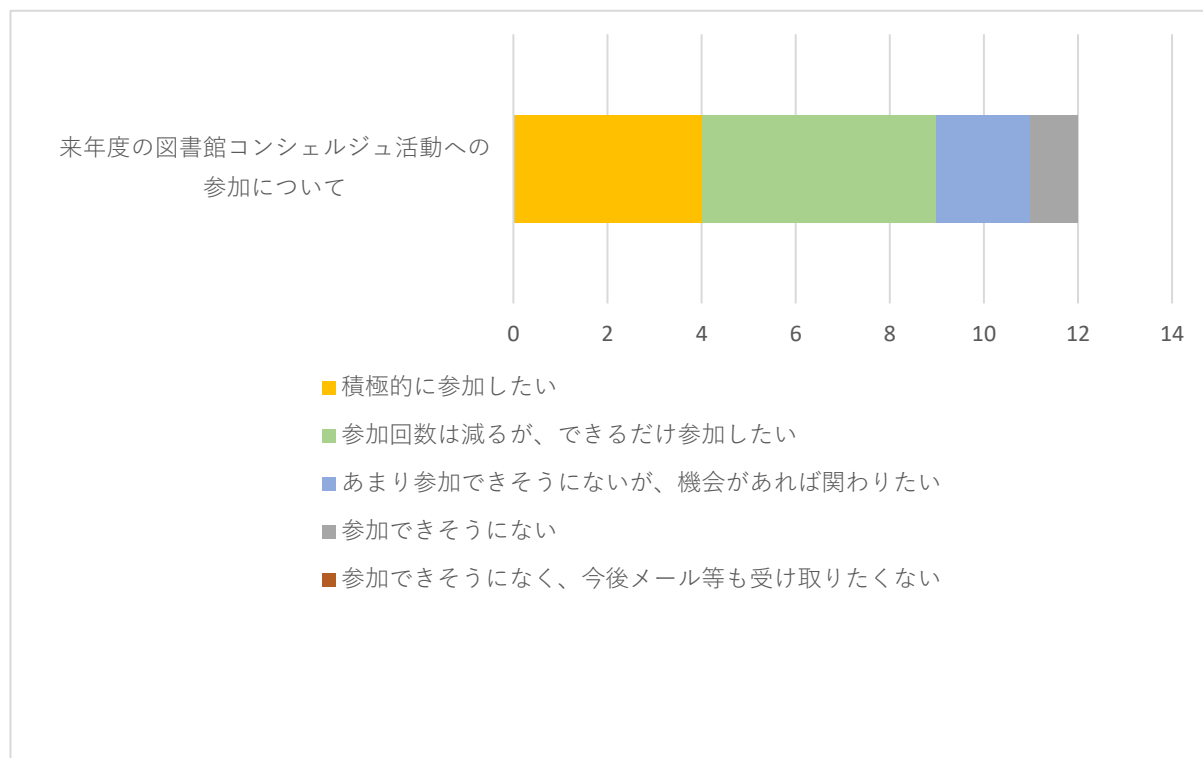
11 コンシェルジュの活動全体に対して、課題・問題点、その他気づいた点や感想などをお書きください。

ミーティングの開催についての連絡が上手くできていないなど、連絡を受け取る人受け取らない人の差があると感じる。

- ・人数に対して企画が多すぎるように思います。
- ・情報共有がしづらいように感じます。
- ・来年度は今よりさらに忙しくなりそうです。企画を1つ担当(ブックコンパス)しており、できるだけ頑張りたいとは思っているのですが、もし運営などに支障が出た場合はどのように対応した方が良いでしょう？引き継ぎ担当者の変更などは出来ますか？
- ・ブックコンパスでまず初めに年間スケジュールを立てるように引き継ぎ書に書いてあったのですが、年間スケジュールのフォーマットなどはありますか？
- ・来年度の活動について今のところあまりビジョンが見えていないのですが、どのようになる予定なのでしょう？春休み中の会議で決まる感じでしょうか？

今回は授業の関係で1回生があまりミーティングに参加出来なかったり、毎回の参加者が決まった人しかいないことが全体的にモチベーションを下げる要因になっていた…というか、活動が積極的に進まない原因はそれじゃないかと思った。

12 来年度の図書館コンシェルジュ活動への参加の意向をご回答ください。



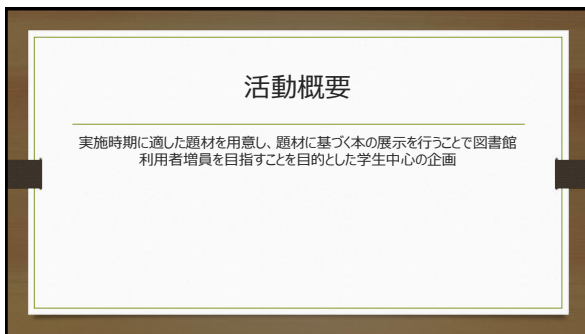
自主企画活動報告



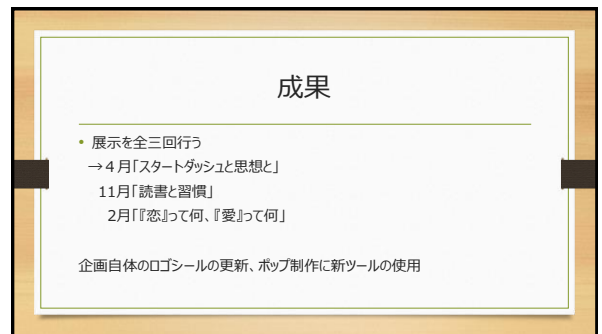
1



2



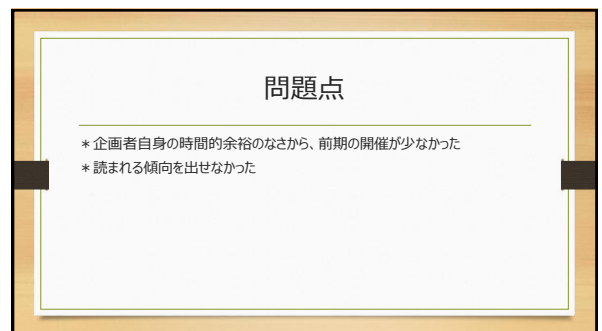
3



4



5



6

改善案

- * 企画人数自体を増やす
- * 予め何の要因で統計にかけるか決めておく

→表紙のデザイン、出版年数、本のサイズなどでやってみる

館内装飾

2021年度コンシェルジュ活動報告会

1

目次

- 企画概要
- 成果（よかった点）
- 問題点
- 改善案

2

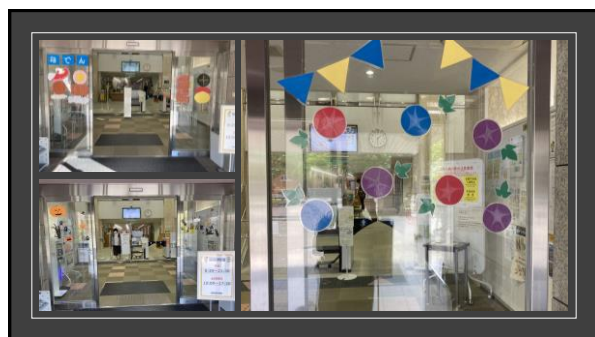
企画概要

- 季節感のある飾りつけをすることで、気軽に足を運びやすい図書館にする。

3



4



5

成果（よかった点）

- 交流の場にする事ができた。
- 来館者の方に、「どんな飾りになるのか毎回楽しみにしている」と言っていた

6

問題点

- ミーティング外での作業だと少人数で作る事態になりがち。自宅で作成したりなど、正直担当者の負担が大きかった。
- 負担を減らすため、新しく飾りを作成する季節を減らしたが、本来であればもっと積極的に作成すべきだった。

7

改善案

- ミーティング中に作成する時間を確保してほしい（以前のように、議題がなくても集まることはできないか）。
- 3年生が企画を受け持つのは時間的に難しいかもしれないので、企画引継ぎの際、考慮すべき。

8



1

企画概要

- ・説明
利用者に「本のタイトル・一言」を書いてもらい、一本の木を完成させることを目指す。
- ・目的
他の利用者が書いて本のタイトルやコメントを見ることで、利用者の読書促進を図る。また、利用者間での交流を図る。

2

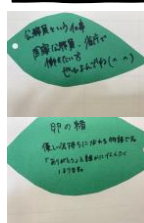
今年度の活動

- ・期間：2021年6月16日～9月29日
- ・展示場所：図書館2階の展示ウォール
- ・対象：図書館利用者
- ・テーマ：自由（参加へのハードルを下げることを目的とした）
- ・参加人数：18名（Twitter掲載数→7）



3

今年度の活動



- ←Twitterに写真を載せてもいいという方には白いシールを貼ってもらった。
- ・新しい書き込みが2枚～3枚集まるごとにTwitterにて報告。
- Twitterでの報告は、計3回行った。
(7月23日/2枚・8月24日/2枚・9月30日/3枚)

4

今年度の活動

- ・企画の成果
自分の好きな本について気軽に発信できる
他の利用者のおすすめの本について知ることができる
→利用者同士の交流の場
- ・改善点
縛りの少ないテーマ（例：お気に入りの小説等）を決めるのもあり

5

総括

- ・反省点
一度しか展示を行うことができなかった。せめて前後期で行うことができたらよかった。
数か月単位で行う展示であるため、変化をつけることで展示としても面白くなったのではないと思う。
- ・来年度に向けて
引継ぎを行い、来年度に向けて企画の準備を開始。

6



1

1. 企画の目的

- ▶団体貸出制度を利用することで島根大学図書館の蔵書が少ない分野や内容の本を補う。
- ▶学生目線での選書・展示により、大学生の図書館利用の活性化を図る。

2

2. 企画の内容

▶松江市立図書館の蔵書を借り受け、島根大学附属図書館の利用者に提供する。

【大まかな流れ】

- ①選書日時・テーマの決定
- ②松江市立図書館で選書
- ③島根大学附属図書館で展示（約2か月間）
- ④展示撤収



3

3. 今年度のスケジュール

▶第1回選書
期間：2021年5月18日～2021年7月9日
テーマオリンピックと癒し
展示冊数：92冊



▶第2回選書
期間：2021年11月22日～2022年1月14日
テーマ「食」
展示冊数：87冊



4

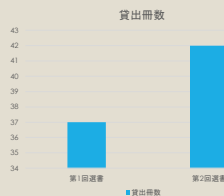
4. 貸出統計

▶第1回選書
総貸出冊数：37冊
1回以上貸出図書冊数：23冊

▶第2回選書
総貸出冊数：42冊
1回以上貸出図書冊数：23冊

▶人気な本は何度も借りられている傾向にある。

▶この資料には載せていないが、例年とほぼ同程度の貸し出し状況となっている。



5

5. 選書を振り返って

▶良かった点

- ・何度も借りられている本があった。
- 一番人気だったのは、第1回選書時は「いきもの人生相談室 動物たちに学ぶ47の生き方哲学」、第2回選書時は「バターの本」だった。
- ・ポスターやポップを置き、本を手にとってもらう機会を作ることができた。

▶反省点

- ・開催頻度が低くなってしまったこと。
- ・貸出回数がなかなか伸びないこと。
- ・ポップを書く人や枚数が限られてしまったこと。



6

6. 今後の課題

▶テーマ決め

→どのようなテーマにするか決めるのが難しい。

▶審査をする人数の確保

→参加する人数が少ないため、もっとたくさんの人に参加してもらいたい。

▶展示の仕方

→ポップの活用、ポスターの貼せ方

▶団体賞出があることを知ってもらうこと

→存在を知らない人も多いため、知ってもらい惜りてもらいたい。



オンラインABD (アクティブ・ブック・ダイアログ)

担当・石原 茜

1

目次

- 1 企画の概要
- 2 企画の流れ
- 3 5月8日開催・オンラインABD
『社会に出るあなたに伝えたい なぜ読解力が必要なのか?』
- 4 9月11日開催・オンラインABD(with梅光学院大学)
『スマホ脳』
- 5 12月17日開催・オンラインABD
『地方消滅 東京一極集中が招く人口急減』
- 6 良かった点
- 7 反省・改善点
- 8 今後について

2

1. 企画の概要

ABDとは...
どんな人でも、短時間で一冊の本を読むことができる新しい読書の手法

方法	得られる効果
・分担して読む ・要約して発表 ・本の内容に関して意見交換	・要約力、プレゼン力が向上 ・対話により交流が生まれる ・気づきや学びの発見

3

2. 企画の流れ

当日使用する本を決める
(※9月11日開催分については梅光学院大学さんとの打ち合わせ(日時・時間帯等))

↓
参加者申込受付(約2週間ほど)
↓
当日(基本的にこの時間帯で開催)
12:45~13:00 受付
13:00~16:00 オンラインABD

4

3. 5月8日開催・オンラインABD 『社会に出るあなたに伝えたい なぜ読解力が必要なのか?』

参加者 ・島大生 5人 の計5人

13:00~16:00の3時間プログラムで開催

一般学生からの参加者も募ったが希望者はおらず...

参加して下さったコンシェルジュメンバーで盛り上がった



5

5. 9月11日開催・オンラインABD(with梅光学院大学) 『スマホ脳』

参加者 ・島大生 2人 ・梅大生 4人 ・梅大図書館職員 1人 の計7人

13:00~16:00の3時間プログラムで開催

梅光学院大学図書館の方と2回目の交流会ということもあり、1回目よりも盛り上がりがあったと思う。
梅光学院大学図書館職員さんから特に満足度が高いという評価をいただいた。

開催後に送ったアンケート結果からも総じて満足度が高かったことが分かった。



6

6. 12月17日開催・オンラインABD 『地方消滅 東京一極集中が招く人口急減』

参加者 ・島大生 7人 の計7人



15:00～18:00の3時間プログラムで開催
(参加者の参加可能な時間の都合上、いつもとは異なる時間で行った)

今回は引き継ぎを行うにあたり、引き継ぎ手となる1回生にABDがどんな企画であるかを知ってもらうためのお話し会として開催

コンシェルジュメンバーのみで行ったためリラックスした雰囲気でした。

7

6. 良かった点

- ・オンライン上でのABDも何度か開催しているので運営がだいぶスムーズになった
- ・もともと4時間プログラムだった企画を3時間に縮めたが、時間内でしっかり完結させることができるようになった
- ・梅光学院大学さんと2回目の交流会を実現させることができて良かった
- ・毎回のアンケートで多くの参加者が満足して下さっていることが分かった

8

7. 反省・改善点

- ・一般学生の参加者がいない
- ・広報が不十分であった
- ・ファシリテーターを務める際に自分ばかり話してしまうことがあった

9

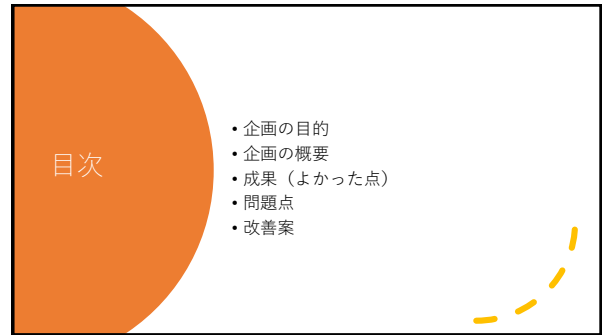
8. 今後について

- ・私自身は担当からは外れてしまうが、梅光学院大学さんとの交流はぜひ続けてほしい
(梅光さんからも交流を希望されておられました...☆)
- ・ファシリテーターを務めるときはなるべく参加者に振るよう
- ・開催頻度は3、4か月に1回くらいがちょうどいいかなと思う(アンケート結果より)

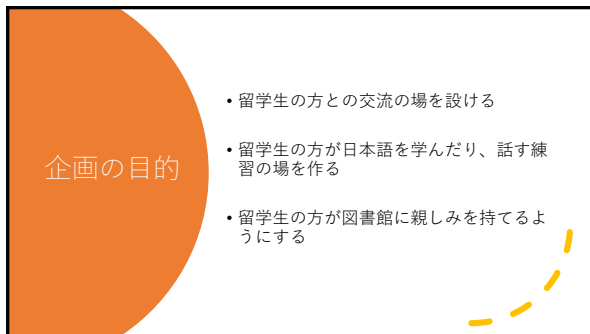
10



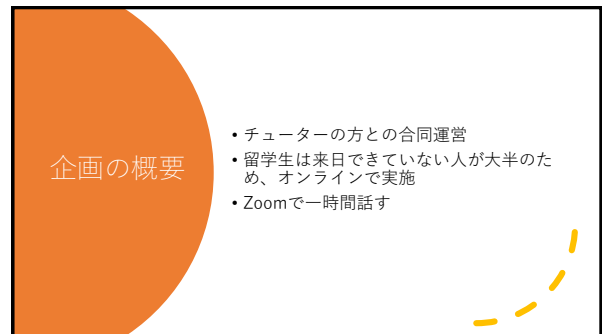
1



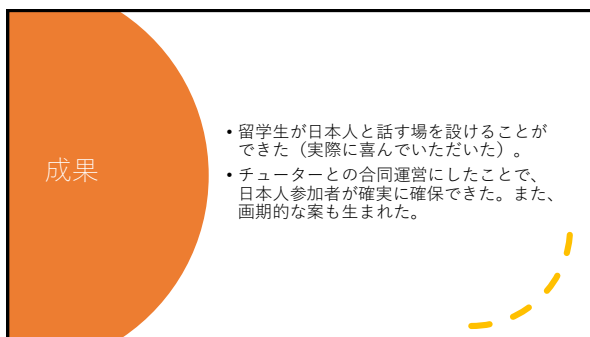
2



3



4



5

開催日	トピック	日本人学生	留学生
11月18日	好きな漫画	3	3
11月25日	恋バナ	2	1
12月2日	日本史	3	1
12月9日	友達作り	4	1
12月16日	就活・院試	3	1
12月23日	K-POPなどの音楽	2	1
1月13日	留学	3	2
	合計	20	10

6

問題点

- 日本人参加者はオープンチャット上では集まったものの、実際に参加してくれた人はほとんどいなかった。
- 留学生の参加者も少なめだった。

7

改善案

- オープンチャットは匿名性が高すぎたかもしれない。
- 留学生の時間が比較的空いている、という曜日に今回は諸事情により設定できなかったが、次回からはなるべく設定した方が無難かもしれない。

8